



第10回 日本レックリングハウゼン病学会 学術大会

The 10th Annual Meeting of the Japanese Society of Recklinghausen Disease

プログラム・抄録集

会期 2019年2月24日(日)

会長 西田 佳弘 (名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション科 教授)

会場 名古屋大学医学部医系研究棟1号館地下1階
愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65

主催 日本レックリングハウゼン病学会

日程表

平成31年2月24日(日)

会場：名古屋大学医学部医系研究棟1号館地下1階

8:00	
8:20～8:40	理事会
9:00	
9:00～9:05	開会の辞 大会会長：西田 佳弘
9:05～10:10	
10:00	
	一般口演1 座長：谷戸 克己 演題1 江原 由布子, 演題2 福田 浩孝, 演題3 古賀 文二, 演題4 諸富 公昭, 演題5 秋山 政晴, 演題6 村松 友佳子, 演題7 安田 健一, 演題8 田内 亮史
10:10～10:20	JOINT GLOBAL NEUROFIBROMATOSIS Conference 報告 演者：生田 国大
10:25～10:55	
	教育講演1 「神経線維腫症1型診療ガイドライン2018について」 座長：太田 有史 演者：吉田 雄一
11:00	
10:55～11:15	教育講演2 「レックリングハウゼン病の包括的管理」 座長：石原 尚子 演者：水野 誠司
11:15～12:00	
	教育講演3 「MPNSTの病理」 座長：小崎健次郎 演者：廣瀬 隆則
12:00	
12:05～12:25	会長講演 「Atypical NF, low grade MPNSTに対する手術的アプローチ」 座長：生越 章 演者：西田 佳弘
12:30～13:20	
13:00	懇親会(昼食) 鶴友会館2階
13:30～13:40	庶務報告 太田 有史
13:40～13:45	倉持朗先生を偲んで：黙祷
13:45～14:50	
14:00	
	一般口演2 座長：西田 佳弘 演題9 有馬 好美, 演題10 神谷 智, 演題11 生越 章, 演題12 紫藤 洋二, 演題13 吉永 彬子, 演題14 小野 竜輔, 演題15 中村 優, 演題16 小池 宏
15:00	
14:55～15:40	
	特別講演1 「神経線維腫症1型の中樞神経合併症」 座長：城所 博之 演者：松尾 宗明
15:45～16:25	
16:00	
	特別講演2 「NF1関連腫瘍に対するプレジジョンメディシンの実践」 座長：佐谷 秀行 演者：西原 広史
16:25～17:25	
17:00	
	シンポジウム 「レックリングハウゼン病と悪性腫瘍」 座長：生越 章 演者：S-1 西田 俊朗, S-2 横井 左奈, S-3 夏目 敦至
17:25	
17:25～17:30	閉会の辞 次期大会会長
17:30	

第10回日本レックリングハウゼン病学会学術集会プログラム

平成31年2月24日(日)

9:00 ~ 9:05 開会の辞 大会会長 西田 佳弘

9:05 ~ 10:10 一般口演 1 座長：佃リバーシティ皮膚科 谷戸 克己

演題1：神経線維腫症型1型(NF1)におけるびまん性神経線維腫の好発部位に関する検討

The frequent site of diffuse plexiform neurofibroma in patients with neurofibromatosis 1

江原 由布子、吉田 雄一、山元 修

鳥取大学医学部感覚運動医学講座 皮膚病態学分野

演題2：乳癌を合併した神経線維腫症1型の6例

Six Cases of NF1 Associated with Breast Cancer

福田 浩孝¹⁾、谷戸 克己¹⁾、太田 有史¹⁾、新村 真人¹⁾、朝比奈 昭彦¹⁾、木下 智樹²⁾、
加藤 久美子²⁾、鳥海 弥寿雄²⁾、武山 浩²⁾

¹⁾東京慈恵会医科大学皮膚科学講座、²⁾東京慈恵会医科大学乳腺外科

演題3：神経線維腫症1型(NF1)患児にみられるhalo現象の臨床的特徴について
～症例集積研究～

Clinical characteristics of the halo phenomenon in infants with neurofibromatosis 1: a case series

古賀 文二¹⁾、吉田 雄一²⁾、今福 信一¹⁾

¹⁾福岡大学皮膚科、²⁾鳥取大学皮膚科

演題4：NF1に合併したsphenoid wing dysplasiaによる視力障害が生じた1例

Sphenoid Wing Dysplasia with visual impairment in Neurofibromatosis Type 1.; Case report.

諸富 公昭¹⁾、平野 成彦¹⁾、西脇 仁¹⁾、濱田 有深²⁾、真田 寧皓²⁾

¹⁾近畿大学医学部形成外科、²⁾近畿大学医学部脳神経外科

演題5：若年性骨髄単球性白血病が自然寛解している重度精神発達遅滞を伴う神経線維腫症1型の7歳男児

Spontaneous remission of juvenile myelomonocytic leukemia in 7-year-old boy with neurofibromatosis type 1 presenting severe mental developmental delay.

秋山 政晴、本多 隆也、山岡 正慶

東京慈恵会医科大学小児科

演題6：母の悪性末梢神経鞘腫瘍 (MPNST) 診断を契機に神経線維腫症 1 型 (NF1) が疑われた小児期姉妹例に対する遺伝カウンセリング

Genetic counseling for young sisters suspected of neurofibromatosis type 1 (NF1) lead by malignant peripheral nerve sheath tumor (MPNST) of their mother.

村松 友佳子¹⁾、森川 真紀²⁾、牧田 夏美³⁾、野々部 典枝⁴⁾、夏目 敦至⁵⁾、西田 佳弘⁶⁾
¹⁾名古屋大学医学部附属病院小児科、²⁾名古屋大学医学部附属病院ゲノム医療センター遺伝カウンセリング部門、
³⁾名古屋大学医学部附属病院小児がん治療センター、⁴⁾名古屋大学医学部附属病院眼科、
⁵⁾名古屋大学医学部附属病院脳神経外科、⁶⁾名古屋大学医学部附属病院整形外科・リハビリテーション科

演題7：イマチニブを2年間投与したGIST合併神経線維腫症 1 型の 1 例

安田 健一、石地 尚興、太田 有史、延山 嘉眞、朝比奈 昭彦
東京慈恵会医科大学附属病院皮膚科学講座

演題8：神経線維腫症に伴う早期発症側弯症に対する 10 歳以下での脊椎固定術

Early definitive spinal fusion surgery of early onset scoliosis with Neurofibromatosis type 1

田内 亮吏、川上 紀明、小原 徹哉、斉藤 敏樹、田辺 博宣、森下 和明、山内 一平
名城病院整形外科脊椎脊髄センター

10:10 ~ 10:20 JOINT GLOBAL NEUROFIBROMATOSIS Conference 報告

名古屋大学医学部附属病院整形外科 生田 国大

10:25 ~ 10:55 教育講演 1

座長：東京慈恵会医科大学皮膚科 太田 有史

神経線維腫症 1 型の診療ガイドライン 2018 について

Guideline for the management of neurofibromatosis 1 in 2018

吉田 雄一

鳥取大学医学部感覚運動医学講座皮膚病態学分野

10:55 ~ 11:15 教育講演 2

座長：藤田医科大学小児科 石原 尚子

レックリングハウゼン病の包括的管理

水野 誠司

愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科

11:15 ~ 12:00 教育講演 3

座長：慶應義塾大学臨床遺伝学センター 小崎 健次郎

悪性末梢神経鞘腫瘍の病理

廣瀬 隆則

神戸大学大学院医学研究科・地域連携病理学兵庫県立がんセンター・病理診断科

12:05 ~ 12:25 会長講演 座長：新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院整形外科 生越 章

Atypical NF, low grade MPNST に対する手術的アプローチ

西田 佳弘

名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科

12:30 ~ 13:20 懇親会 (昼食) 会場：鶴舞キャンパス 鶴友会館2階

13:30 ~ 13:40 庶務報告 日本レックリングハウゼン病学会事務局 太田 有史

13:40 ~ 13:45 倉持 朗先生を偲んで：黙祷

13:45 ~ 14:50 一般口演2 座長：名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科 西田 佳弘

演題9：NF1 患者神経線維腫からの神経線維腫細胞および脱分化脂肪 (DFAT) 細胞の樹立

Establishment of neurofibroma cells and dedifferentiated fat (DFAT) cells from tumor tissues from patients diagnosed with NF1

有馬 好美、信末 博行、酒井 成貴、貴志 和生、武内 俊樹、小崎 健次郎、佐谷 秀行
慶應義塾大学 医学部先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門

演題10：polydom はフォン・レックリングハウゼン病の皮膚型神経線維腫形成メカニズムを決定づける

Polydom determines the development mechanism of dermal neurofibroma in von Recklinghausen's disease

神谷 智¹⁾、室田 浩之¹⁾²⁾、荒瀬 規子¹⁾、金田 眞理¹⁾、佐藤 涼子³⁾、関口 清俊³⁾、
奥崎 大介⁴⁾、元岡 大祐⁴⁾、片山 一郎¹⁾⁵⁾

¹⁾大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学皮膚科学教室

²⁾長崎大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚病態学分野

³⁾大阪大学蛋白質研究所マトリクソーム科学 (ニッピ) 寄付研究部門

⁴⁾大阪大学微生物病研究所遺伝情報実験センター ゲノム解析室

⁵⁾大阪府立大学大学院医学研究科色素異常症治療開発共同研究部門

演題11：周囲二重結紮法を用いたびまん性神経線維腫に対する手術治療

Circumferential parallel ligation method for the diffuse neurofibroma

生越 章¹⁾、川島 寛之²⁾、有泉 高志²⁾、山岸 哲郎²⁾、大池 直樹²⁾

¹⁾新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院整形外科、²⁾新潟大学大学院整形外科学分野

演題12：切除手術後に巨大肢を呈した神経線維腫症1型の一例

A case report of neurofibromatosis type 1 developed giant leg after surgical resection.

紫藤 洋二、松山 幸弘

浜松医科大学整形外科

演題 13：右下肢から骨盤内にPlexiform Neurofibromaを有する6歳男児の治療方針の検討
－当院通院中の他2症例の経過を踏まえて

Treatment of a 6-years Old Boy with Plexiform Neurofibroma from the Right Lower Limb to the Pelvis

吉永 彬子¹⁾、津下 到¹⁾、吉田 健司²⁾、梅田 雄嗣²⁾、岡本 健³⁾、齊藤 晋¹⁾

¹⁾京都大学医学部附属病院形成外科、²⁾京都大学医学部附属病院小児科、³⁾京都大学医学部附属病院整形外科

演題 14：びまん性神経線維腫に対して動脈塞栓療法を併用して治療したNF1の1例

A case of NF1 with a diffuse-type neurofibroma treated by a combination of embolization therapy

小野 竜輔、錦織 千佳子

神戸大学皮膚科

演題 15：当科における巨大神経線維腫切除症例の検討

中村 優、高成 啓介、蛭沢 克己、宮永 亨、内堀 貴文、神戸 未来、伊藤 弘幸、
亀井 謙

名古屋大学形成外科

演題 16：NF1患者における神経性腫瘍の良悪性の鑑別におけるADC mapの有用性の検討

The importance of apparent diffusion coefficient map for differentiation of benign and malignant peripheral nerve sheath tumors

小池 宏¹⁾、西田 佳弘¹⁾²⁾、伊藤 信嗣³⁾、生田 国大¹⁾、浦川 浩¹⁾⁴⁾、新井 英介¹⁾、
大田 剛広¹⁾、酒井 智久¹⁾、清水 光樹¹⁾、石黒 直樹¹⁾

¹⁾名古屋大学医学部附属病院整形外科、²⁾名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科、

³⁾名古屋大学医学部附属病院放射線科、⁴⁾名古屋大学医学部附属病院化学療法部

14:55 ~ 15:40 特別講演 1

座長：名古屋大学小児科 城所 博之

神経線維腫症 1 型の中樞神経合併症

松尾 宗明

佐賀大学医学部医学科小児科学講座

15:45 ~ 16:25 特別講演 2

座長：慶應義塾大学先端医科学研究所遺伝子制御研究部門 佐谷 秀行

がん遺伝子検査に基づくプレシジョンメディシンの実践

Cancer Precision Medicine based on multigene testing

西原 広史

慶應義塾大学病院腫瘍センターゲノム医療ユニット

16:25 ~ 17:25 シンポジウム 座長：新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院整形外科 生越 章
「レックリングハウゼン病と悪性腫瘍」

S-1：NF1 遺伝子に変異を持つGIST

西田 俊朗¹⁾、内藤 陽一²⁾、市川 仁³⁾

¹⁾国立がん研究センター中央病院、²⁾国立がん研究センター東病院、³⁾国立がん研究センター研究所

S-2：成人期NF1における乳癌

横井 左奈¹⁾²⁾、山本 尚人³⁾

¹⁾千葉県がんセンター遺伝子診断部、²⁾千葉県がんセンター研究所がんゲノムセンター

³⁾千葉県がんセンター乳腺外科

S-3：Neurofibromatosis 1 と神経膠腫のゲノム解明とNF1 変異動物モデルの表現型

夏目 敦至¹⁾、大岡 史治¹⁾、若林 俊彦¹⁾、近藤 豊²⁾

¹⁾名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科、²⁾名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍生物学

17:25 ~ 17:30 閉会の辞

次期大会会長
